# 平成 29 年度 事 業 報 告 書

≪事業報告及び事業報告の附属明細書≫

社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会

#### 本書の構成

平成 29 年度事業報告書は、本会定款第 40 条第 1 号及び第 2 号に規定する事業報告及び 事業報告の附属明細書を原則、実施事業の取組項目ごとに併記して作成しています。

### ■ 概要

平成29年度事業計画における重点事業(取組項目)の概説と成果を記載しています。

#### ■ 会議

平成29年度における理事会等の開催状況を記載しています。

#### ■ 実施事業

平成29年度事業を「第2次地域福祉活動計画実施計画(平成27年度~平成29年 度) 」の取組項目に沿ってまとめています。

#### 【 記載内容の表記 】

# 2 情報のキャッチボール

活動計画における施策

#### (1)情報の発信

活動計画における基本事業

① 社協だよりの発行 【総務課】 (会費・共募) 2,191 千円 [2,023 千円]2,205 千円  $\uparrow$  $\uparrow$ H29 決算 [H28 決算]H29 当初予算 財源

活動計画における取組項目 担当部署

(※) 財源の表記例 会費: 社協会費

共募:共同募金配分金

市補:市補助金

V基:ボランティア基金

# 目 次

概	要																								 •	 			1
Ι		会	議																										
	1		理	事	会																					 			3
	2		評	議	員	会																				 			5
	3		地	域	福	祉	活	動	実	施	計	画	推	進	委	員	会									 			6
_			14	_	VIIIe																								
П			施																										
																											•		7
																											•		7
																											•		7
	(	3	)	法	人	合	併	調	査		•		• •		• •			• •	• •	•		•	 •	•	 •	 •	•		7
	2		情	報	の	+	ヤ	ツ	チ	ボ	_	ル																	
	(	1	)	情	報	0)	発	信		•												•		•	 •	 	•		8
	(	2	)	情	報	0)	収	集		•												•	 •	•	 •	 			8
	3		福	祉	教	育	の	推	進																				
	(	1	)	ボ	ラ	ン	テ	イ	ア	学	習	0)	推	進								•				 			9
	(	2	)	福	祉	教	育	の	支	援		•										•			 •	 		1	0
	4		小	地	域	福	祉	活	動	の	活	性	化																
	(	1	)	地	区	部	会	活	動	の	支	援		•												 	•	1	2
	(	2	)	地	区	部	会	活	動	推	進	0)	た	め	0)	基	盤	整	備	ĵ				•	 •	 	•	2	0
	(	3	)	各	種	寸	体	•	関	係	機	関	と	0)	連	携	•	強	化	Ĺ						 	•	2	1
	5		ボ	ラ	ン	テ	1	ア	活	動	の	促	進																
	(	1	)	ボ	ラ	ン	テ	イ	ア	0)	育	成														 		2	3
	(	2	)	相	談	`	支	援	体	制	の	強	化	•	充	実		•								 		2	4
	(	3	)	災	害	時	に	お	け	る	ボ	ラ	ン	テ	イ	ア	体	制	T)	• 基	色	備				 	•	2	7
	6		権	利	擁	護	の	充	実																				
	(	1	)	成	年	後	見.	幸	援	セ	ン	タ	_	機	能	$\mathcal{O}$	充	実								 		2	8

	7		在	宅	褔	祉	サ	_	ビ	ス	の	充	実	•	支	援													
	(	1	)	在	宅	福	祉	機	器	0)	貸	与		•														3	1
	(	2	)	心	配		と	相	談	所	0)	運	営		•										•			3	2
	8		子	育	て	支	援																						
	(	1	)	放	課	後	児	童	健	全	育	成		•														3	4
	(	2	)	交	通	遺	児	援	護																			3	5
	(	3	)	心	身	障	害	児	福	祉	の	推	進		•													3	5
	(	4	)	保	育	士	修	学	資	金	等	貸	付	事	業													3	5
	(	5	)	V	ح	り	親	家	庭	高	等	職	業	訓	練	促	進	資	金	: 貸	付	· 事	:	É				3	7
	9		生	活	安	定	の	た	め	の	支	援																	
	(	1	)	経	済	的	な	自	立	更	生	の	支	援														3	8
1	0		福	祉	施	設	ゃ	団	体	ع	の	連	携		支	援													
	(	1																										4	0
						福																							0
1	1					成																						-	
•	-					管											Ы	Œ	) <i>1</i> 11	1. 個	:							1	1
						福祉																							2
4											化土	7'P I	V 1	反片	リブ	< □	( V)	*		工.	V) ]	<b>ス</b> ノ	\ A	U				4	<b>_</b>
'						動				-T.1																			
						<i>(</i> )						•		• •	• •				• •				•		•	 •	•	4	3
1						充																							
						0)																						4	4
		2				財																							5
	(	3	)	組	織	体	制	の	充	実	•	強	化		•								•		•	 •	•	4	5
1	4		災	害	^	の	対	応																					
	(	1	)	義	援	金	`	寄	附	金	0)	受	付	等											•		•	4	6
関	連	資	料	[	組	織	図	]																				4	7

# 概要

#### ■ はじめに

国は平成28年に「地域共生社会」を提案し、あらゆる住民が役割を持ちながら、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域をともに創っていく社会を目指しています。これは、制度・分野ごとの「縦割り」や「支える」・「受ける」という関係を超えて、地域住民や様々な団体が「我が事」として参画し、人や資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、課題を解決する仕組みの再構築を図るものとなっています。

その背景には、介護と育児の問題を同時に抱える人や、80代の親と働いていない50代の息子が同居するなど、複合的な生活課題を抱え、包括的な支援が必要な世帯が増えていること、少子高齢化や家族形態の変化等により、単身世帯が増加していることなどがあります。

平成27年の国勢調査によると本市の独居高齢者は約4万4千人、高齢者に占める独居高齢者の割合は18.4%となっています。団塊の世代がすべて75歳以上となる平成37年には、独居高齢者は約5万7千人、高齢者のうち5人に1人が独居高齢者となることが見込まれています。

これらの課題を踏まえ、本会の地域福祉活動計画に基づき、地区部会を中心として、ボランティア団体、社会福祉施設、町内自治会、企業、学校等さまざまな団体とのネットワークを活かし、買物支援事業や生活困窮者の自立促進など福祉課題・生活課題の解決に向けた支援や仕組みづくりに努めました。

このほか、児童福祉法改正により、利用対象児童を段階的に拡大し、平成 29 年度に 6 年生までとなった子どもルームでは、利用児童数の急増によるスタッフの人材不足解消のために必要な措置を講じ、体制整備に努めています。

また、地域福祉活動計画の計画期間(平成27~29年度)の満了に伴い、新たに第3次地域福祉活動実施計画(平成30~32年度)を策定しました。

一方、社会福祉法人の制度改革においては、社会福祉協議会を含めた社会福祉法人のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務等が求められるようになっており、平成29年度は、新たに策定した基盤強化方針に基づき、法人としての体制整備を行うとともに、職員年齢の偏在、財務状況の硬直化等の課題解決に努めました。

また、千葉市長から、社会福祉法人千葉市社会福祉事業団との合併を両法人で協議・検討するよう要請を受けました。この要請を受け、両法人の意思決定体制の整備、合併を行うとした場合の検討調査等に着手しました。

今後も、千葉市老人福祉施設協議会、千葉市民生委員児童委員協議会、千葉市赤十字奉 仕団、千葉市ボランティア連絡協議会等福祉関係団体と連携強化を図り、社協らしさを踏 まえた取組みを推進していきます。

#### ■ 平成29年度の重点事業(取組項目)

#### 1 見守り活動の推進 P15

ひとり暮らし高齢者等に対して、日常的な見守りや声かけによる安否確認等、安心して地域で暮らせるような仕組みづくりや活動を実施する地区部会に対して支援や助成を行いましたが、平成28年度と同じ29地区(町内自治会数は16減)への助成にとどまりました。

#### 2 地域支え合い活動の推進 P15

掃除や買い物などの生活行為の一部が困難な方等に対して、安心して地域で暮らせるような仕組みづくりや活動の立ち上げが出来るよう、5 地区に対して助成しましたが、目標の6地区増には至りませんでした。

#### 3 買物支援サービス事業の実施 P21

日常の買物に不便さを感じている独居高齢者等が多数存在する買物困難地域の課題解決を図るため、地域住民、社会福祉施設、店舗等と連携し、買物支援サービス事業を若葉区及び緑区の一部地域で実施し、延べ利用人数 1,139 人、延べ実施回数 289 回の実績となりました。また、新たに若葉区野呂町での立ち上げを支援し、実施(自主運営)に至りました。

#### 4 ボランティア入門講座の開催 P23

小学生からシニアまで幅広い世代を対象にボランティア活動を始めるきっかけづくり として、体験を含めた講座を33講座開催しました。

#### 5 法人後見の推進 P30

新たに3件を受任し、成年後見人等として延べ25人(年度末現在20人)に、成年後 見人等に課される身上配慮義務に沿って財産管理及び身上監護を行いました。

#### 6 生活困窮者自立促進支援事業 P39

生活困窮者自立支援法に基づく事業の一部を受託し、生活困窮者に対して自立に向けた支援計画作成等による支援を行いました。広報啓発や各種団体等への事業説明会を積極的に行ったこと、社協内部での情報共有を強化したことにより、新規相談受付件数が32件増加、支援計画策定件数が33件増加しました。また、就労体験の受入れを新たに始め、新規社会資源を開拓したこともあり、一般就労達成件数も56件から70件に増加しました。

# I 会議

## 1 理事会

#### 第1回 平成29年6月2日(金)

議案第1号 平成28年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第2号 平成28年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告

議案第3号 平成28年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決算

議案第4号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事選出規程の一部改正

議案第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事候補者の選任

議案第6号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事候補者の選任

議案第7号 社会福祉法改正に伴う社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬 及び費用弁償並びに旅費に関する規程の制定

議案第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会給与規程の一部改正

議案第9号 平成29年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第 10 号 平成 29 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定時評議員会の招集 以上、原案通り可決しました。

報告第1号 中・長期経営改善計画(平成22年度~平成31年度)の取組結果

報告第2号 第2次地域福祉活動実施計画(平成27年度~平成29年度)の進捗状況

報告第3号 包括外部監査の結果報告

#### 第 2 回 平成 29 年 6 月 22 日 (木)

議案第 11 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会長、副会長、常務理事の選定 以上、原案通り可決しました。

#### 第3回(決議の省略)

#### 理事会の決議があったとみなされた日 平成29年9月19日(火)

議案第 12 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事の辞任に伴う後任監事候補者 の選任

## 第 4 回 平成 29 年 12 月 5 日 (火)

議案第13号 平成29年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第 14 号 千葉市の要請に基づく本会と社会福祉法人千葉市社会福祉事業団との 合併に向けた検討

議案第 15 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務分掌規程の一部改正

議案第16号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について

議案第 17 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部 改正

- 議案第 18 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会たすけあい金庫貸付規程を廃止す る規程の一部改正
- 議案第 19 号 高齢者及び重度障害者居室等増改築・改造資金貸付規程を廃止する規程の一部改正
- 議案第20号 たすけあい金庫貸付審査委員会規程を廃止する規程の一部改正
- 議案第 21 号 高齢者及び重度障害者居室等増改築・改造資金貸付審査会設置規程を 廃止する規程の一部改正
- 議案第22号 平成29年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第3回評議員会の招集 以上、原案通り可決しました。
- 報告第4号 会長及び常務理事の職務執行状況報告
- 報告第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第3次地域福祉活動実施計画策定の 進捗状況報告
- 報告第6号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の中間報告
- 報告第7号 会計監査人の選定に係る経過報告
- 報告第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会中央区事務所及び若葉区事務所の 移転
- 報告第9号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正

#### 第5回 平成30年3月15日(木)

- 議案第 23 号 平成 29 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第24号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第3次地域福祉活動実施計画の 策定
- 議案第25号 平成30年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画
- 議案第26号 平成30年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算
- 議案第 27 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員候補者の選任
- 議案第28号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定款の一部変更
- 議案第 29 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会経理規程の一部改正
- 議案第30号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会内部管理体制の基本方針の制定
- 議案第31号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事監査規程の制定
- 議案第32号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会個人情報保護規程の一部改正
- 議案第33号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並びに 旅費に関する規程の一部改正
- 議案第 34 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部 改正
- 議案第35号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務分掌規程の一部改正
- 議案第36号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決裁規程の一部改正
- 議案第 37 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会福祉資金積立金規程の一部改正
- 議案第38号 平成29年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第4回評議員会の招集 以上、原案通り可決しました。
- 報告第10号 法人合併調査の現状

# 2 評議員会

#### 第1回 平成29年6月22日(木)

議案第1号 平成28年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第2号 平成29年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告

議案第3号 平成29年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決算

議案第4号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事選出規程の一部改正

議案第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事の選任

議案第6号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事の選任

議案第7号 社会福祉法改正に伴う社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬 及び費用弁償並びに旅費に関する規程の制定

議案第8号 平成29年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算 以上、原案通り可決しました。

報告第1号 包括外部監査の結果報告

#### 第2回(決議の省略)

評議員会の決議があったとみなされた日 平成 29年9月 26日(火)

議案第9号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事の辞任に伴う後任監事の選任

### 第3回 平成29年12月13日(水)

議案第 10 号 平成 29 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算 議案第 11 号 千葉市の要請に基づく本会と社会福祉法人千葉市社会福祉事業団との 合併に向けた検討

以上、原案通り可決しました。

報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

報告第3号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の中間報告

報告第4号 会計監査人の選定に係る経過報告

#### 第 4 回 平成 30 年 3 月 27 日 (火)

議案第 12 号 平成 29 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第13号 平成30年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画

議案第14号 平成30年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算

議案第 15 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の選任

議案第 16 号 千葉市社会福祉協議会定款の一部変更

以上、原案通り可決しました。

報告第5号 法人合併調査の現状

# 3 地域福祉活動実施計画推進委員会

#### 第1回 平成29年8月4日(金)

議題1 委員長・副委員長の選任について

議題2 第3次地域福祉活動実施計画の策定方針について

#### 第2回 平成29年10月26日(木)

議題1 第1回推進委員会でいただいたご意見の概要について

議題2 社協と社協を取り巻く課題の全体像について

議題3 ご意見・全体像を踏まえた施策の方向性について

議題4 具体的な取組項目(案)について

#### 第3回 平成29年12月11日(月)

議題1 第2回推進委員会における意見及び事務局としての対応について

議題2 第3次地域福祉活動実施計画(原案)について

#### 第 4 回 平成 30 年 2 月 27 日 (火)

議題1 第3回推進委員会における意見及び事務局としての対応について

議題2 第3次地域福祉活動実施計画(原案)に対する意見への対応について

議題3 第3次地域福祉活動実施計画(最終案)について

# Ⅱ 実施事業

# 1 法人の基盤強化

法人の継続性・安定性を確保するために基盤強化方針の適切な進行管理に努めるとともに、市社協の新たな地域福祉活動計画を策定しました。また、千葉市長からの要請を受け、社会福祉法人千葉市社会福祉事業団との合併に関する検討調査等に着手しました。

#### (1) 法人の基盤強化【総務課】

① 基盤強化方針に基づく法人運営

法人の継続性・安定性を確保するために、職員年齢の偏在、財政状況の硬直化、 事業分野の偏り、社会福祉法の改正等の課題解決のための取組みを整理した基盤強 化方針に基づき、組織の基盤強化、事業効果の向上に努めました。

#### (2) 地域福祉活動計画の推進【地域福祉推進課】

① 第3次地域福祉活動実施計画の策定 ≪新規≫

本会の第2期地域福祉活動基本計画(計画期間:平成23~32年度)の効果的・計画的な推進を図るため、近年の社会情勢や動向等にも配慮しつつ、基本理念と4つの基本目標に沿った具体的な取組みを示す、第3次地域福祉活動実施計画(計画期間:平成30~32年度)を策定しました。

### (3) 法人合併調査【総務課法人合併調査室】

① 法人合併調査の実施 《新規》

千葉市長から、平成 29 年 10 月 31 日付けにて、社会福祉法人千葉市社会福祉事業団との平成 32 年 4 月を目途とした合併を両法人で協議・検討するよう要請を受けました。

この要請を受け、平成 32 年 4 月の合併を目途とした検討を開始することの承認 を平成 29 年 12 月 13 日に評議員会から受け、平成 30 年 1 月 1 日に総務課に法人合 併調査室を設置しました。

法人合併調査室は、法人合併調査に係る両法人の意思決定体制の整備、合併を行うとした場合のメリット及びデメリットを検討する際の基礎資料を整備するための組織関係・財務関係・給与関係における論点の調査等を実施しました。

# 2 情報のキャッチボール

より多くの市民に対し、本会が中心となって実施する地域福祉活動を広く理解していた だくために、必要な情報が届くよう、社協だよりの発行やホームページの充実、ボランテ ィア活動情報の提供等を通じて情報の発信に取り組み、地域福祉への理解・参加の促進に 努めました。

また、市民の意見を反映した地域福祉活動を推進するために、電子メールによる意見の 収集やイベント等における参加者へのアンケートに取り組み、市民の声を収集していく仕 組みづくりを実施しました。

#### (1)情報の発信

① 社協だよりの発行【総務課】 (共募) 2,191 千円 [2,023 千円] 2,205 千円 社協活動の広報紙として、社協だよりを年4回、各3万2千部発行し、各町内自 治会での回覧や公共施設などに配架し、多くの市民へ情報を提供しました。

	H 29		H 28	H29目標値
号数	発行日	発行部数	発行回・部数	発行回・部数
第98号	平成29年 6月15日			
第99号	平成29年 9月21日	夕 22 000世	年4回	年4回
第100号	平成29年12月7日	各32,000部	各32,000部	各32,000部
第101号	平成30年 3月15日			

② ホームページの充実【総務課他】 (共募) 55 千円 [55 千円] 55 千円

ホームページで、本会や地区部会、各種ボランティア団体等の活動状況を掲載す るとともに、地域で必要とする福祉情報を発信しました。

#### <アクセス数>

区分	H 29	H28
本会トップページ	65,290件	48,585件
ボランティアセンター	18,437 件	20, 295 件
成年後見支援センター	14,600 件	10,112件
社会福祉研修センター	8,809件	8,043 件
生活自立・仕事相談センター	4,891件	2,819件

#### ③ 災害等緊急時の情報提供【地域福祉推進課】

ボランティアセンターのホームページに、被災地の災害ボランティアセンターの ホームページのアドレスを掲載し、被災地のボランティア募集状況や被災地への物 資の送付方法等の情報を発信しました。

#### (2)情報の収集

① メールやアンケートによる意見収集【各部署】

市民の声を広く集め地域福祉活動に反映させるため、メールによる意見の受付や 各種講座やイベント等において受講者及び参加者に対しアンケートを行いました。

# 3 福祉教育の推進

将来の地域福祉の担い手を育成するため、教育委員会等と連携し、学校における福祉 教育が継続的、計画的に実施されるよう支援しました。

また、市民の福祉意識や自分の住む地域への関心を高め、主体的な福祉活動への参加につなげるため、地域や施設団体等と連携し、児童や生徒のみならず幅広い世代を対象に、実践や体験を通じた福祉教育の展開に取り組みました。

#### (1) ボランティア学習の推進【地域福祉推進課】

① ボランティア活動推進協力校等指定事業

(会費·市補) **2,058 千円** [2,108 千円] **2,108 千円** 

千葉市教育委員会の協力を得て、市内の小学校からボランティア活動推進協力校 等を指定し、学校が主体となって行うボランティア学習の取組みを支援しました。

H= V= , P	H 29 指定	海浜打瀬小、花島小、高洲小、 真砂西小、磯辺小		
ボランティア 活動推進 協力校 (15 校) <3 年間 >	仁戸名小、さつきが丘東小、 おゆみ野南小、磯辺第三小、 美浜打瀬小		H 29 目標値 15 校	
✓ 3 平間 ✓	H27 指定			
ボランティア 活動推進	H29 指定	都小、千城台西小、高浜第一小、 越智小、打瀬小	H29 目標値	
準協力校(9校) <2年間>	H28 指定	園生小、宮崎小、瑞穂小、真砂東小	9 校	

② 福祉教育研究大会の開催 (市補・共募・V基) 389 千円 [390 千円] 399 千円 千葉市教育委員会の協力を得て、轟町中学校を平成 29 年度の福祉教育研究大会 開催協力校として指定し、学校が主体となって行う福祉教育プログラムの開発の取 組みを支援しました。

また、近隣の小・中学校の教員や地域住民に対しても参加を呼びかけ、同校の取組みの発表や参加者のボランティア体験学習の場として、平成29年11月15日に同校を会場として福祉教育研究大会を開催しました。

#### (2) 福祉教育の支援【地域福祉推進課】

① 福祉教育情報の提供

(市補・共募・V基) **418 千円** [436 千円] 454 千円

市内の小・中・特別支援学校へ、効果的な福祉教育に資するための「福祉教育ニ ュース」を小学校に8部、中学校に5部ずつ配布しました。

市内の小学4年生から中学3年生を対象に福祉のこころを育むための「わたしも ぼくもボランティア」を配付しました。

このほか、ボランティア活動推進協力校の取組みをまとめた事例集を作成し、 市内の小・中学校に配付しました。

#### ア 福祉教育ニュース

	H 29		H 28	H29目標値
巻数	発行月	発行部数	発行回・部数	発行回・部数
第52号	平成29年7月	夕 1 200年	年2回	年2回
第53号	平成30年2月	各1,300部	各1,300部	各1,300部

#### イ わたしもぼくもボランティア

H 29		H 28	H29目標値
発行月	発行部数	発行回・部数	発行回・部数
平成30年3月	51,000部	年1回 51,000部	年1回 51,000部

#### ② 小学生向け福祉冊子「やさしい気持ち」の配付

(市補・共募・会費) 1,140 千円 [1,612 千円] 1,320 千円

市内の小学4年生を対象とした福祉教材として、「超高齢社会」を支えていく子ど もたちに「福祉」への関心を抱かせる福祉冊子を作成し、配付しました。

H 29		H 28	H29目標値
発行月	発行部数	部数	部数
平成29年5月	8,000部	8,000部	8,000部

## ③ 教員向け福祉教育講座「福祉教育セミナー」の開催

(市補・共募・∨基) 52 千円 [14 千円] 65 千円

市内の小・中・特別支援学校教員を対象に、学校で福祉教育を進める上で必要な 福祉教育の目的・視点について整理し、ボランティア学習プログラム作成に資する ことを目的として、福祉教育講座を開催しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
講座数	1 講座	1 講座	1 講座
開催日数	1 日	1 日	1 日
受講者数	20 人	16 人	40 人

④ 福祉体験用具貸出 (市補・共募・V基) **632 千円** [233 千円] [285 千円]

市内の小・中・高等学校等が行う福祉教育を支援するため、福祉体験用具の貸出 しを行いました。より多くの学校への貸出しができるようPRチラシを学校に配付 し、福祉教育ニュースに案内を掲載しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
延貸出校数	373 校	269 校	320 校
貸出用具数	3,148 個	2,818 個	_

#### ⑤ 講師派遣(ふれあいトーク)

(V基) **12 千円** [37 千円] | 18 千円

市内の小・中・高等学校に障害のある方を講師として派遣し、学校による福祉教 育のための支援を行いました。より多くの学校への派遣ができるようPRチラシを 学校に配付し、福祉教育ニュースに案内を掲載しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
実施件数	9 件	9 件	20 件

#### ⑥ 出張ボランティア・福祉体験講座の開催

市内の小・中・高等学校や企業などからの依頼により職員を派遣し、ボランティ アに関する講演や高齢者疑似体験、車椅子の体験指導を行いました。より多くの学 校への派遣ができるようPRチラシを学校に配付し、福祉教育ニュースに案内を掲 載しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
派遣回数	29 回	25 回	25 回

#### ⑦ 地域でのボランティア体験の場・活動機会の提供

地区部会に小・中学校の児童・生徒の「ボランティア受入協力地区」としての協 力を得て、地域における福祉教育への協力体制の構築を図るため、小・中学校を訪 問し、地区部会との連携の働きかけを行いました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
実施地区部会	43 地区	44 地区	10 地区増

# 4 小地域福祉活動の活性化

小地域福祉活動を活性化する上で中心的な役割を担う地区部会が、より良い事業展開を継続的に実施できるよう企画提案や助成を行うなど、コミュニティソーシャルワーカー(以下「CSW」という。)が中心となり地区部会活動の支援に努めるとともに、担い手の確保・育成のため、福祉活動推進員等の知識や技術の向上を目的とした研修を実施し、地区部会活動の担い手育成に努めました。

また、介護保険制度の改正を踏まえ、地域支え合い活動に取り組む地区部会に対して助成を含めた支援を行うとともに、各種団体・関係機関と買物支援サービス事業に取り組むなど、地域の福祉課題を共有し、継続的に連携・協働に努めました。

#### (1) 地区部会活動の支援【地域福祉推進課】

① 広報紙「地区部会だより」の発行

(会費·共募) **2,295 千円** [2,430 千円] **2,790 千円** 

地域住民に対して地区部会活動への理解と担い手を確保・育成していくことを 目的とした広報紙を発行する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H 29	36 回	28 回	21 回	37 回	10 回	21 回	153 回
1129	(16 地区)	(12 地区)	(11 地区)	(13 地区)	(4 地区)	(7地区)	(63 地区)
1100	39 回	28 回	22 回	41 回	10 回	22 回	162 回
H 28	(16 地区)	(12 地区)	(11 地区)	(14 地区)	(4 地区)	(8 地区)	(65 地区)
H 29							2 地区増
目標値	_	_	_	_	_	_	2地区垣

# ② ふれあい食事サービス事業への支援

# (会費・共募・負担金・市補) 12,091 千円 [13,028 千円] 13,871 千円

ひとり暮らし高齢者等を対象に心身の健康保持と社会参加を目的とし、ボランティアや福祉施設等の協力を得て、定期実施型・行事実施型・施設利用型の3形態で行われる会食会や配食を実施する地区部会を支援しました。

	区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
定	H 29	1,459 食 (2 地区)	294 食 (1 地区)	2,431 食 (6 地区)	147 食 (1 地区)	1,514 食 (3 地区)	2,016 食 (2 地区)	7,861 食 (15 地区)
期実施	H 28	1,470 食 (2 地区)	296 食 (1 地区)	2,477 食 (6 地区)	154 食 (1 地区)	1,455 食 (3 地区)	2,221 食 (2 地区)	8,073 食 (15 地区)
型	H29 目標値	1,463 食 (2 地区)	320 食 (1 地区)	2,622 食 (6 地区)	180 食 (1 地区)	1,510 食 (3 地区)	2,230 食 (2 地区)	8,325 食 (15 地区)
行	H 29	498 食 (5 地区)	1,246 食 (9 地区)	98 食 (2 地区)	235 食 (3 地区)	_	231 食 (2 地区)	2,308 食 (21 地区)
事実施	H 28	503 食 (5 地区)	1,219 食 (9 地区)	109 食 (2 地区)	252 食 (3 地区)	_	237 食(2 地区)	2,320 食 (21 地区)
型	H 29 目標値	635 食(5 地区)	1,315 食 (9 地区)	110 食 (2 地区)	235 食(3 地区)	_	225 食(2 地区)	2,520 食(21 地区)
施	H 29		1,051 食 (2 地区)	_	464 食 (1 地区)	_	1,785 食 (3 地区)	3,300 食 (6 地区)
設利用	H 28	_	1,164 食 (2 地区)	_	492 食 (1 地区)	_	1,851 食 (4 地区)	3,507 食 (7 地区)
型	H 29 目標値		1,270 食 (2 地区)		470 食 (1 地区)	_	1,995 食 (3 地区)	3,735 食 (6 地区)
	H 29	1,957 食	2,591 食	2,529 食	846 食	1,514 食	4,032 食	13,469 食
合計	H 28	1,973 食	2,679 食	2,586 食	898 食	1,455 食	4,309 食	13,900 食
	H 29 目標値	2,098 食	2,905 食	2,732 食	885 食	1,510 食	4,450 食	14,580 食

# ③ふれあい・いきいきサロンの推進

# (会費・共募・市補) 5,477 千円 [5,244 千円] 6,306 千円

地域の中に高齢者同士の語らいの場を設け、閉じこもり防止や寝たきり、認知症の予防を行うとともに、高齢者の仲間づくりを図ることを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H 29	370 回 (13 地区)	1,227 回 (13 地区)	837 回 (12 地区)	332 回 (13 地区)	384 回 (4 地区)	501 回 (8 地区)	3,651 回 (63 地区)
H 28	351 回 (13 地区)	1,224 回 (13 地区)	763 回 (11 地区)	337 回 (12 地区)	369 回 (4 地区)	452 回 (8 地区)	3,496 回 (61 地区)
H 29 目標値	_	_	_	_	_	_	3 地区増

#### ④ ふれあい・子育てサロンの推進

# (会費・共募・市補) 1,032 千円 [1,038 千円] 1,197 千円

子育て中の親子が自由に集い、地域ボランティアとともに交流を通して、仲間づくりを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
1100	207 回	138 回	127 回	95 回	49 回	72 回	688 回
H 29	(15 地区)	(9地区)	(11 地区)	(9 地区)	(3地区)	(6 地区)	(53 地区)
1100	208 回	130 回	128 回	107 回	48 回	71 回	692 回
H 28	(15 地区)	(9地区)	(10 地区)	(9地区)	(3地区)	(6 地区)	(52 地区)
H 29 目標値	_						3 地区増

⑤ ふれあい・散歩クラブの推進(会費・共募・市補)530千円 [562千円] 689千円 高齢者とボランティアによる散歩を通して、閉じこもりの防止や健康保持を目的 とした活動を実施する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H 29	75 回 (5 地区)	152 回 (6 地区)	117 回 (6 地区)	44 回 (6 地区)	60 回 (2 地区)	82 回 (3 地区)	530 回 (28 地区)
H 28	74 回 (5 地区)	168 回 (6 地区)	133 回 (6 地区)	44 回 (6 地区)	61 回 (2 地区)	82 回 (3 地区)	562 回 (28 地区)
H 29 目標値	_	_	_	_	_	_	4 地区増

⑥ 地区部会ボランティア講座の開催 (市補) 1,160 千円 [1,050 円] 1,530 千円 地区部会活動への理解と担い手を確保・育成していくためのボランティア講座を 開催する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H 29	21 回 (10 地区)	21 回 (8 地区)	21 回 (10 地区)	27 回 (9 地区)	6回 (3地区)	20 回 (8 地区)	116 回 (48 地区)
H 28	20 回 (10 地区)	19 回 (8 地区)	18 回 (8 地区)	25 回 (9 地区)	5 回 (2 地区)	18 回 (7 地区)	105 回 (44 地区)
H 29 目標値	_	_	_	_	_	_	13 地区増

### ⑦ 地域福祉シンポジウムの開催

(市補) **239 千円** [451 千円] —千円

これから地域に求められる「支え合い・助け合い」の仕組みづくり、その進め方等を紹介し、担い手として地域で活躍する人材の育成へ向けた意識の醸成を図ることを目的に開催しました。

開催日/会場	参加者数	内容	講師
平成30年3月19日 (月)		地域福祉シンポジ	
千葉市民会館	90 人	ウム「地域の事例から学ぶ!地域での 支え合い」	准教授 加山 弾 氏 他、事例発表 2 団体

⑧ 見守り活動の推進【重点事業】 (共募)1,295 千円 [2,570 千円] [1,610 千円 ひとり暮らし高齢者等に対して、日常的な見守りや声かけによる安否確認等により、安心して地域で暮らせるよう見守り活動の仕組みづくりを支援するとともに、活動を実施する地区部会(町内自治会)に助成しました。

区分	H 29	H 28	H 29 目標値
地区部会数	29 地区	29 地区	3 地区増
(町内自治会数)	(263 町内自治会)	(279 町内自治会)	

#### ⑨ 地域支え合い活動の推進【重点事業】

(共募·市補) **1,086 千円** [868 千円] 1,500 千円

掃除や買い物などの生活行為の一部が困難な方等のために、安心して地域で暮らせるような仕組みづくりを各区事務所から地域の各種団体・機関へ働きかけるとともに、新たに活動を実施する5地区部会へ助成するとともに支援しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
地区部会数	5 地区	4 地区	6 地区増

# ⑩ 福祉活動推進員研修会の実施 (共募・会費) **294 千円** [103 千円] **401 千円**

地区部会活動の中心的な役割を担う福祉活動推進員を対象に、地域の福祉課題の発見・把握、課題解決につなげるための知識や情報を習得してもらうための研修会を年4回開催しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
開催数	4 回	4 回	4 回
参加者数	595 人	265 人	_

<研修内容(第1回~第3回:地域福祉推進課主催)>

回数	開催日/会場	参加 者数	研修内容	講師	
	平成29年4月11日(火)		「あたたかい		
第1回	千葉市文化センター 3 階 アートホール	254 人	まちづくりへの一歩 〜わたしたちに できること〜」	東洋大学 准教授 加山 弾 氏	
	平成29年8月29日(火)	87 人	「楽しく学んで	公益財団法人 日本レクリエーション 協会	
第 2 回	千葉市ハーモニープラザ 多目的ホール		脳も身体も一緒に鍛えよう!」	レクリエーション支援者 育成部 マネージャー 小久保 信幸 氏	
	平成29年12月5日 (火)		「私たち住民にでき	千葉大学大学院社会科学	
第3回	千葉市ハーモニープラザ 多目的ホール	70 人	る地域コミュニティづくりとは」	研究院 教授 関谷 昇 氏	

<sup>※</sup> 第1回 福祉活動推進員全体研修会(平成29年度福祉活動推進員一斉改選)

第2回 福祉活動推進員研修会

第3回 地区部会役員・実務者研修会と合同開催

年4回開催する福祉活動推進員研修会のうち1回を各区で開催し、各区の地域課題や実情等にあわせ、実施しました。

<研修内容(第4回:各区事務所主催)>

区	開催日/会場	参加 者数	研修内容	講師
中央区	平成30年3月5日(月)	40.1	「介護予防・日常生活	千葉市あんしん ケアセンター中央
中央区	中央保健福祉センター 大会議室	46 人	支援総合事業」	管理者 谷口 さなえ 氏
花見川区	平成30年1月15日 (月)	18 人	「バルーンアート	菅原 勝男 氏
14. 兄川区	花見川保健福祉センター 大会議室	10 八	初心者講座」	官 <i>队 勝为</i> 以
	平成30年3月1日(木)			【ボッチャ】 ボッチャ同好会
稲毛区	稲毛保健福祉センター 大会議室	40 人	「来て見て体験! サロンで困ったときの 玉手箱〜ボッチャ&バ ルーンアート&シニア リーダー体操〜」	代表 千葉 誠 氏 【バルーンアート】 バルーン WIND 代表 大久保 雄子 氏 【シニアリーダー体操】 シニアリーダー 稲毛区連絡会 会長 高橋 登 氏

区	開催日/会場	参加 者数	研修内容	講師	
	平成30年2月7日 (水)				
若葉区	若葉保健福祉センター 大会議室	33 人	「知的障害疑似体験等 研修」	千葉市ボランティア団体キャラバン隊「ららら」	
	平成30年2月27日 (火)		「緑区の地区部会活動について」	誉田地区部会 部会長 鳥山 雪江 氏	
緑区		28 人		椎名地区部会 部会長 岡本 博幸 氏	
冰区	緑保健福祉センター 大会議室			土気地区部会 部会長 丸島 昭男 氏	
				おゆみ野地区部会 部会長 中村 輝男 氏	
	平成30年3月22日(木)			「福祉でまちづくり	順天堂大学
美浜区	美浜保健福祉センター 大会議室	19 人	〜地区部会活動における福祉教育〜」		

# ⑪ ふれあい食事サービス事業研修会の実施

# (共募)**4千円**[168千円] 9千円

ふれあい食事サービス事業ボランティアに対して、食中毒等の予防に関する衛生 講習の研修会を開催しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
開催数	1 回	2 回	1 回
参加者数	55 人	102 人	_

### <研修内容>

開催日/会場	参加 者数	研修内容	講師
平成 29 年 5 月 31 日 (水)			
千葉市ハーモニープラザ 社会福祉研修センター	55 人	「食中毒予防について」	千葉市保健所食品安全課 

# ⑫ 地区部会役員・実務者研修会の実施

# (共募・会費) **19 千円** [52 千円] **59** 千円

地区部会が継続的に地域の福祉課題に取り組めるよう、地区部会役員等を対象に、地域福祉活動に関する知識や実務に関する研修会を年2回開催しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
開催数	2 回	3 回	2 回
参加者数	159 人	198 人	

#### <研修内容>

回数	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
	平成 29 年 5 月 12 日 (金)			千葉市高齢福祉課
第1回	千葉市ハーモニープラザ 多目的ホール			千葉市あんしんケアセン ター中央 管理者 谷口 さなえ 氏
	平成29年12月5日 (火)			
第 2 回	千葉市ハーモニープラザ 多目的ホール	70 人		千葉大学大学院社会科学 研究院 教授 関谷 昇 氏

<sup>※</sup> 第2回 福祉活動推進員研修会と合同開催

#### (2) 地区部会活動推進のための基盤整備【地域福祉推進課】

#### ① 地区部会設立の支援

(会費) 0円 [0円] 150千円

市内全域で住民主体による小地域福祉活動が展開できるよう、地区部会未設置区域の住民や団体等に対して地区部会設立のための働きかけを行いましたが、実現には至りませんでした。なお、中央区新宿地区部会から一部(千葉みなとエリア)が分離し、新たに千葉みなと地区部会が設立されました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
地区部会数	68 地区	67 地区	1地区増

#### <地区部会数>

区 名	地区部会数
中 央 区	17 地区
花見川区	13 地区
稲 毛 区	12 地区
若 葉 区	14 地区
緑区	4 地区
美 浜 区	8 地区
合 計	68 地区

#### ② 地区部会活動拠点確保の支援

継続的に地区部会活動を展開していくため、地域における社会資源を把握すると ともに、行政、民間企業、社会福祉施設等へ地域福祉への理解を求め、活動拠点確 保に向けた働きかけを行った結果、1地区の拠点を確保しました。

地区部会名	拠点施設
磯辺地区部会	磯辺地域ルーム

#### <拠点確保の状況>

平成29年度末現在、中央区松ヶ丘地区部会の「ひだまり」、花見川区花見川地区部会の「鷹の台自治会館」、若葉区結・みつわ台地区部会の「モノレールみつわ台駅」、加曽利地区部会の「桜が丘晴山苑」など市内17か所が地区部会の拠点となっています。

#### ③ 地域福祉活動推進のための制度設計

地域福祉活動を推進していく上で、地域住民が地域の福祉課題を共有化し、効率的かつ効果的に課題解決に向けた取組みができる仕組みづくりについて検討しました。

#### (3) 各種団体・関係機関との連携・強化【地域福祉推進課】

① 各種団体・関係機関との連携・協働

あんしんケアセンター等と地域福祉の推進について連携・協働するとともに、区支え合いのまち推進協議会と協力し、千葉市の「支え合いのまち千葉 推進計画(第4期千葉市地域福祉計画)」を策定しました。また、千葉市ことぶき大学校福祉健康学科と連携し、地区部会が実施するサロン活動への実習受入れの調整及び支援を行いました。

### <ことぶき大学校 実習受入実績>

区分	地区部会数	受入人数
H 29	27 地区	66 人
H 28	31 地区	68 人

- ②各種団体・関係機関との小地域福祉活動の推進《新規》
  - ア 地域ふくしカアップ助成金による支援(福祉資金)**205 千円** [-千円] 1,800 千円 地域の特性や市民の意向等を踏まえ、CSWを中心に地域福祉の活性化及び地域における福祉課題の解決を図るため、市民が自主的に行う事業に要する経費について、予算の範囲内において、当該事業を実施するものに対し助成金を交付しました。今年度は、若葉区の1団体へ助成しました。

#### <助成実績>

区分	H 29	H29 目標値
助成団体数	1団体(若葉区)	6 団体

※(団体名)キャラバン隊「ららら」・(事業内容)知的障害疑似体験等事業

# イ 買物支援サービス事業の実施【重点事業】

(共募) **166 千円** [260 千円] 169 千円

日常の買物に不便さを感じている独居高齢者等が多数存在する買物困難地域の 課題解決を図るため、地域住民、社会福祉施設、店舗等と連携し、買物支援事業 の仕組みづくりを行い、若葉区大宮台エリア、緑区大椎台自治会での実施を継続 するとともに、若葉区野呂町で立ち上げ支援を行い、実施(自主運営)に至りま した。

#### ・若葉区大宮台エリア

大宮台近隣の5地区で週1回ずつ実施しています。

#### <利用状況>

区分	利用登録者数	延べ実施回数	延べ利用人数
H 29	34 人	241 回	924 人
H 28	31 人	239 回	903 人

・緑区大椎台自治会エリア 大椎町の一部で週1回実施しています。

#### <利用状況>

区分	利用登録者数	延べ実施回数	延べ利用人数
H 29	9 人	48 回	215 人
H 28	8 人	10 回	46 人

・若葉区野呂町エリア 野呂町(野呂自治会)において、週1回実施(自主運営)しています。

## ③ 千葉市生活支援コーディネーター設置業務の実施【緑区事務所】

(受託金) **4,745 千円** [4,724 円] 4,745 千円

日常生活上の支援が必要な高齢者に対して多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、緑区における千葉市生活支援コーディネーター設置業務を平成28年度に引き続き千葉市より受託しました。支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図るため、生活支援コーディネーターを2名配置し、地域の生活支援・介護予防サービスなど社会資源の把握、多職種との連携に努めました。

# 5 ボランティア活動の促進

多様なボランティアニーズに対応するためには、多くのボランティアを確保する必要があることから、ボランティア活動に興味・関心がある方へのきっかけづくりに取り組みました。

また、多様なボランティアに関する相談や支援のため、ボランティアの紹介・調整や各種講座の開催等に積極的に取り組み、相談・支援体制の強化・充実に努めました。

大規模災害時におけるボランティア活動への対応に早急に取り組む必要があることから、 災害時のボランティアの確保・育成や調整機能の強化を図るとともに、平常時から関係団 体とのネットワークづくりに取り組み、災害時における支援体制の整備に努めました。

#### (1) ボランティアの育成【地域福祉推進課】

① ボランティア活動のきっかけづくり

千葉市と協力して、区役所など市内 19 か所にペットボトルキャップ回収箱を設置し、市民の自主的なペットボトルキャップの収集・リサイクル活動の促進を図り、ボランティア活動への参加のきっかけづくりに努めました。

区分	H 29	H 28
収集重量	26, 227. 7kg	27, 280kg
キャップ数	11,277,911 個	11,730,787 個
ポリオワクチン	6,556.9 人分	10,953 人分

#### ② ボランティア入門講座の開催【重点事業】

(市補・共募・∨基) 1,125 千円 [892 千円] 1,196 千円

小学生からシニアまで幅広い世代を対象にボランティア活動を始めるきっかけづくりとして体験を含めた入門講座を開催しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
講座数	33 講座	33 講座	33 講座
開催日数	56 日	50 日	48 日
受講者数	532 人	652 人	780 人

③ ボランティア養成講座の開催(市補・共募・V基)478 千円 [566 千円] 529 千円 入門講座修了者やボランティア活動実践者を対象に、様々な活動依頼に対応する ため、必要な知識や技術のステップアップを図る講座を開催しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
講座数	12 講座	12 講座	12 講座
開催日数	24 日	29 日	30 日
受講者数	240 人	215 人	280 人

# (2) 相談、支援体制の強化・充実【地域福祉推進課】

① ボランティア相談の受付 (市補・共募・V基) **169 千円** [181 千円] **242 千円** ボランティア活動をしたい市民や活動を実践している方が必要とする情報をパンフレット(ボランティア活動の手引き)、リーフレット(応援しますボランティア)、ホームページ等を用いて提供し、ボランティア活動の促進に努めました。

# ② ボランティアの紹介

(会費・市補・共募・V基) **1,278 千円** [1,263 千円] **1,423 千円** ボランティアを必要とする市民の相談に応じ、ボランティアの調整・紹介を行いました。

ボランティアを必要とする人とボランティアをしたい人を結びつけるための広報 紙(ボランティアセンターのお知らせ)を年8回、各1,500部発行し、登録ボラン ティアに配付しました。

# ア ボランティア登録状況

	区分 H29 (※)		H28 (**)	H29 目標値	
総登録者数 9,236 人		9,521人 9,895)			
内	個 人	3, 351 人	3,816 人	4,075 人	
訳	グループ	5,885 人 (195 グループ)	5,705 人 (195 グループ)	5,820 人 (203 グループ)	

<sup>※</sup> 年度末時点

# イ ボランティア依頼件数、対応件数とコーディネート件数

(件)

				H 29			H 28		主な依頼内容
		依頼者	依頼	対応	コーディネート	依頼	対応	コーディネート	
		①障害児	1	1	1	3	3	2	外出支援、託児
	個	②障害者	4	3	2	5	5	4	外出支援、話し相手
		③高齢者	6	5	5	12	12	12	家事援助、余暇支援
	1	④児童	0	0	0	0	0	0	
単	ド	⑤その他	0	0	0	2	2	2	学習支援、見守り
発的		小 計	11	9	8	22	22	20	
なニ		①障害児施設等	18	16	16	7	7	7	イベント支援、託児、演奏活動
1	団	②障害者施設等	15	15	10	22	22	20	イベント支援、演奏活動等
ド		③高齢者施設等	29	24	23	37	37	33	イベント支援、演奏活動等
	1	④児童施設等	6	6	6	4	4	4	イベント支援、託児
	ド	⑤その他	24	23	22	28	28	26	イベント支援、託児等
		小 計	98	98	89	98	98	90	
	<u>í</u>	单 発 計	120	120	109	120	120	110	
		①障害児	1	1	1	7	7	5	外出支援、学習支援等
	個	②障害者	10	10	5	16	16	7	外出支援、話し相手、見守り等
	人二	③高齢者	22	22	15	17	17	12	話し相手、余暇支援等
	ード	④児童	3	3	2	1	1	1	託児
定	Γ	⑤その他	2	2	1	4	4	4	買物支援、外出支援
期的		小 計	38	38	24	45	45	29	
なニ		①障害児施設等	10	10	7	13	13	2	学習・余暇活動の支援等
1	[7]	②障害者施設等	38	38	20	74	73		作業補助、余暇活動支援等
K	体ニ	③高齢者施設等	173	173	87	235	235	129	話し相手、余暇活動支援等
	ド	④児童施設等	4	4	2	6	6	4	遊び相手、託児
	'`	⑤その他	4	4	3	6	6	4	イベント時の託児、運動指導補助等
		小計	229	229	119	334	333	174	
	Ź	定期計	267	267	143	379	378	203	
			370	360	228	499	498	313	
	合	計·		コーディ 61.			コーディン 62.	ネート率 7%	

# ③ 社会福祉施設等のボランティア担当者のための支援

(市補・共募) **60 千円** [28 千円] 58 千円

ボランティアと受け入れ施設側の双方がより良い関係を築けるよう支援するため、 社会福祉施設のボランティア担当者を対象に、ボランティアを受け入れる基礎知識 や活動プログラム作成等の研修を実施しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
講座数	1 講座	1 講座	1講座
開催日数	1 日	1 日	1 日
受講者数	20 人	15 人	25 人

# ④ 企業の社会貢献活動への相談・支援 企業からの社会貢献の相談に応じ、情報の提供を行いました。

#### ⑤ ボランティア基金事業

(∨基) **2,004 千円** [2,058 千円] **2,313 千円** 

ボランティア基金より、ボランティアグループへの助成を行いました。また、ボ ランティア活動を促進するための資金確保として、使用済み切手等を収集し、ボラ ンティアの協力のもと仕分け作業を行い、売却収入をボランティア基金に積み立て ました。

#### ア ボランティアグループへの助成

区分	H 29	H 28	H29 目標値
グループ数 96 グループ		103 グルーフ°	113 グ <i>ル</i> ープ
事業数	123 事業	128 事業	113 事業
助成金額	1,904,840 円	2,005,818円	2,260,000円

#### イ 使用済み切手等の収集量及び売却金額

ᅜᄼ	H 29		H 28	
区分	収集量	売却金額	収集量	売却金額
使用済み切手	104.9 kg	43,902 円	179. 2 kg	71,940 円
使用済みプリペイドカード	20,350 枚	2,035 円	25,850 枚	3,882 円
合 計		45,937 円		75,822 円

### (3) 災害時におけるボランティア体制の整備【地域福祉推進課】

① 災害ボランティア講座の開催

(共募) **25 千円** [44 千円] 52 千円

千葉市で大規模な自然災害が発生した際に立ち上げる災害ボランティアセンター の運営を担うボランティアを養成する「災害ボランティアセンター運営ボランティ ア講座」を開催しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
講座数	2 講座	2 講座	2 講座
開催日数	3 日	4 日	各 2 日
受講者数	『基礎』 緑区(2 日)17 人 『フォローアップ』 緑区(1 日)22 人	『基礎』 花見川区(3 日)30 人 『フォローアップ』 中央区(1 日)32 人	各 30 人

# ② 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

(共募) **292 千円** [658 千円] **353 千円** 

千葉市ハーモニープラザを災害ボランティアセンターと想定し、本会職員と災害ボランティアセンター運営ボランティアの協働による設置運営訓練を実施しました。

区分	H 29	H 28
実施日	平成 30 年 2 月 25 日 (日)	平成 29 年 2 月 26 日 (日)

# 6 権利擁護の充実

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及・啓発を図り、これらによる支援を必要とする市民の利用促進に努めるほか、市民後見人の養成や、市民後見人をはじめとした市民との協働をすすめました。

### (1) 成年後見支援センター機能の充実【千葉市成年後見支援センター】

① 成年後見制度等の周知 (受託金)258 千円 [415 千円] 543 千円 成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及・啓発を図るため、市民向けの講習会を3回(目標回数:2回)開催したほか、市民の依頼に応じて出前講座31件(目標件数:15件)を行いました。また、市内の町内自治会でチラシの回覧を行いました。

#### <講習会の実施>

開催日時	開催場所	参加者 数	講習内容
平成29年7月5日 (水)	千葉市生涯学習	267 人	成年後見制度利用促進
午後1時00分~午後4時30分	センター		シンポジウム
平成29年12月12日 (火)	イオンゆみーる鎌取	27 人	成年後見制度と日常
午後2時00分~午後3時00分	ショッピングセンター		生活自立支援事業
平成30年2月25日 (日) 午後1時00分~午後4時00分	千葉県経営者会館	187 人	成年後見制度研修会

② 成年後見制度に関する相談・対応 (受託金)**646 千円** [646 **千円**] 成年後見制度の利用や家庭裁判所への申立て手続きに関する相談などに応対しました。また、弁護士による法律相談を実施しました。

#### <相談件数>

区分 H29		H 28	H29 目標値	
一般相談	750 件	781 件	800 件	
法 律 相 談	26 件	22 件	30 件	
合 計	776 件	803 件	830 件	

③ 日常生活自立支援事業 (利用料・市補) 31,223 千円 [28,119 千円] 30,843 千円 認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力に不安を抱える方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、延べ242 人 (年度末現在180人) に福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理に関する助言や手続き代行等の援助をしました。

#### <契約状況>

区分	H 29	H 28	H29 目標値
認知症高齢者等	96 件	103 件	
(新規契約件数)	(28 件)	(54件)	
(解約・終了件数)	(35 件)	(35 件)	
知的障害者	17 件	11 件	
(新規契約件数)	(7件)	(6件)	
(解約・終了件数)	(1件)	(2件)	
精神障害者	34 件	37 件	004 /#-
(新規契約件数)	(14件)	(17件)	224 件 (年度末)
(解約・終了件数)	(17件)	(5件)	
その他	33 件	23 件	
(新規契約件数)	(19件)	(11件)	
(解約・終了件数)	(9件)	(5件)	
合 計	180 件	174 件	
(新規契約件数)	(68件)	(88件)	
(解約・終了件数)	(62件)	(47件)	

# ④ 市民後見人の養成

(受託金) **340 千円** [380 千円] 666 千円

市民後見人を養成するための研修を行い、研修修了者を後見人等候補者として登録するとともに、更なるスキルアップの機会を設けました。

#### ア 研修会の開催

□ /\	Н	29	H 28	
区分	開催日数	受講者数	開催日数	受講者数
市民後見人養成研修(基礎編)	7 日	17 人	7 日	19 人
市民後見人養成研修(応用編)	2 日	13 人	2 日	16 人
市民後見人養成研修(実務編)	13 目	13 人	16 日	16 人
市民後見人フォローアップ研修	2 日	95 人	2 日	84 人

#### イ 市民後見人の登録状況

区分		H 29	H 28	H29 目標値
市民後見人登録者		95 人	80 人	
	更新	80 人	61 人	85 人
	新規	15 人	19 人	

⑤ 法人後見の推進【重点事業】(後見報酬等) 6,283 千円 [5,188 千円] 6,332 千円 法人として新たに 3 件の成年後見人を受任し、成年後見人等として延べ 25 人(年度末現在 20 人)に、成年後見人等に課される身上配慮義務に沿って財産管理及び身上監護を行いました。

### <受任状況>

			H 29			H 28		
	区分		類	型		類	型	H29 目標値
			後見	保佐		後見	保佐	
認	知症高齢者等	8 件	7件	1 件	9 件	8 件	1 件	
	(新規受任件数)	(1件)	(1件)	(0件)	(3件)	(3件)	(0件)	
	(終了件数)	(2件)	(2件)	(0件)	(1件)	(0件)	(1件)	
知	1的障害者	11 件	10 件	1 件	11 件	10 件	1 件	
	(新規受任件数)	(1件)	(1件)	(0件)	(2件)	(2件)	(0件)	
	(終了件数)	(1件)	(1件)	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)	
精	神障害者	1 件	1 件	0 件	2 件	1 件	1 件	25 件
	(新規受任件数)	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)	(年度末)
	(終了件数)	(1件)	(0件)	(1件)	(0件)	(0件)	(0件)	
そ	の他(疾病)	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	
	(新規受任件数)	(1件)	(1件)	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)	
	(終了件数)	(1件)	(1件)	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)	
	合 計	20 件	18 件	2 件	22 件	19 件	3 件	
	(新規受任件数)	(3件)	(3件)	(0件)	(5件)	(5件)	(0件)	
	(終了件数)	(5件)	(4件)	(1件)	(1件)	(0件)	(1件)	

# ⑥ 市民後見活動の促進

市民後見人養成研修修了者と協働し、成年被後見人等を地域で支える市民後見活動を促進しました。

### <年度末の活動者数>

区分	H 29	H 28	H29 目標値	備考
活動者数	15 人	18 人	21 人	家庭裁判所からの 選任の有無を問わない

# 7 在宅福祉サービスの充実・支援

福祉機器を短期的に必要とする方に無償で貸し出し、利用者や介助者の経済的負担を 軽減するとともに、生活上のさまざまな相談に対し相談員による助言を行うことにより、 市民が在宅で安心して生活できるよう支援しました。

### (1) 在宅福祉機器の貸与

① 車椅子貸与事業【社会福祉課】 (市補・会費) 238 千円 [234 千円] 273 千円 短期間車椅子が必要な方へ 2 か月(最長 6 か月)を限度として、無償で貸し出し、利用者や介助者の経済的負担を軽減しました。

区分	Н	29	Н	H29 目標値	
<b>丛</b> 刀	保有台数	貸出件数	保有台数	貸出件数	
中 央 区	14 台	47 件	14 台	53 件	
花見川区	23 台	97 件	26 台	90 件	年間貸出
稲 毛 区	30 台	94 件	28 台	81 件	件数
若 葉 区	30 台	118 件	29 台	95 件	530 件
緑区	18 台	82 件	18 台	52 件	
美 浜 区	36 台	151 件	35 台	131 件	
合 計	151 台	589 件	150 台	502 件	

# (2) 心配ごと相談所の運営

① 相談業務の実施【社会福祉課】(市補・共募) 1,355 千円 [1,377 千円] [1,426 千円 市民の生活上のさまざまな悩み事相談に、経験豊かな相談員が面談、電話で応じて問題解決を図るとともに、相談者の悩みの解消に努めました。

また、法律問題を伴う相談に応じるため、弁護士による法律相談を行いました。

開所日数	(開所時間:月~金曜日(祝日·年末年始を除く)10:00~15:00) 253日								
加川口奴	【常設相談 244 日	【常設相談 244 日、法律相談 9日】							
相談員	民生委員・児童委員、有識者 計 14 人								
	1,160 件 【常設相談 1,122 件、法律相談 38 件】								
	相談内容	H 29	H 28						
	家族	220 件	245 件						
	生計	54 件	54 件						
	財産	78 件	72 件						
	離婚	27 件	18 件						
	住	58 件	48 件						
	苦情	26 件	28 件						
	医療	52 件	57 件						
	精   神   保   健     職   業   ・   生   業	198 件	241 件						
取扱件数	老人福祉	25 件 11 件	32 件						
	健康・衛生	48 件	35 件						
	結婚	5 件	1 件						
	教育・青少年	5 件	19 件						
	心身障害者(児)福祉	8 件	11 件						
	年金	20 件	20 件						
	事故	3 件	4 件						
	人 権 ・ 法 律	116 件	87 件						
	母子福祉·父子福祉	5 件	0 件						
	児童福祉・母子保健	7 件	8 件						
	そ の 他	194 件	204 件						
	合 計	1,160件	1,207件						
±□ ⇒k イコ □	 (男:89 人/女:4	20 7)							
相談利用   者数	509 人		20 I I						
日刻	【常設相談:471人、法律相談:38人】								
相談内容 処理状況	取扱件数 1,160 件に対し、解決 902 件、再来 108 件、民生委員紹介 5 件、 他機関紹介 135 件、その他 10 件								

# ② 相談員の研修の実施【社会福祉課】 (共募) **40 千円** [43 千円] **84 千円**

相談員が、変化する社会情勢に対応した適切な助言ができるよう、相談員の資質 と相談技術の向上のための研修を実施しました。

回数	開催日/会場	参加 者数	研修内容	講師	
第 1 同	平成 29 年 8 月 10 日 (木)	12 人	生活自立・仕事相談	千葉市生活自立・仕事相談 センター中央 千葉市発達障害者支援センター 相談支援員 仲村美緒氏	
第1回	千葉市ハーモニープラザ	12 /	センターについて		
第2回	平成 29 年 12 月 14 日 (木)	14 人	発達障害の理解と		
<b>第</b> 2回	千葉市ハーモニープラザ	14 人	対応		
第3回	平成30年3月8日(木)	13 人	心配ごと相談所	法律相談 弁護士	
おり凹	千葉市ハーモニープラザ	13 人	法律相談事例		
A 女D TT //女	平成 29 年 8 月 21 日 (月) 8 月 22 日 (火)	1人	相談技法研修会	植田寿之氏 (元梅花女子大学准教授)	
外部研修	新横浜国際ホテル (神奈川県横浜市)		性 峽 仅 伝 妍 修 云		

## 8 子育て支援

子育て家庭への支援として、千葉市の放課後児童健全育成事業を受託し、子どもルーム の運営を実施しました。

また、自主事業として、交通遺児、在宅重度心身障害児へ慰問金等を給付しました。その他、保育士人材の確保等を目的とした貸付事業を実施しました。

## (1) 放課後児童健全育成【社会福祉課】

① 放課後児童健全育成事業

(受託金) 2,289,271 千円 [2,086,253 千円] 2,399,947 千円 就労等により昼間家庭にいない保護者の小学校児童に対して、授業終了後の遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てを支援する事業を千葉市から受託し、実施しました。

ア ルーム数及び利用児童数 ※() 内は高学年ルーム及び高学年児童の内数

7 名数次の利用児童数 ※()門は同手中ル 名及の同手中児童の門数						
□ 八	H29 (H30	). 3. 1 時点)	H28 (H30.3.1 時点)			
区分	ルームか所数	利用児童数	ルームか所数	利用児童数		
中央区	33 か所(9)	1,698人(265)	30 か所(7)	1,595 人(222)		
花見川区	25 か所(3)	1,290人(157)	27 か所(4)	1,231人(153)		
稲毛区	26 か所(6)	1,404人(173)	24 か所(5)	1,298人(161)		
若 葉 区	21 か所(3)	909 人 (121)	20 か所(2)	852 人 (93)		
緑区	27 か所(7)	1,377人(167)	26 か所(8)	1,241人(132)		
美 浜 区	28 か所(6)	1,573人(255)	30 か所(8)	1,592人(222)		
合 計	160 か所 (34)	8,251人(1,138)	157 か所 (34)	7,809人(983)		

## イ 利用日・利用時間

区分	基本時間
通常授業日(月曜日~金曜日)	授業終了後~午後6時00分
土 曜 日	午前 8 時 30 分~午後 4 時 30 分
短 縮 授 業 日	授業終了後~午後6時00分
学校行事等振替休業日	午前8時00分~午後6時00分
春・夏・秋・冬休み期間 (月曜日〜金曜日)	午前 8 時 00 分~午後 6 時 00 分

※ 延長時間 午後6時00分~午後7時00分(平日のみ)

## (2)交通遺児援護【社会福祉課】

① 交通遺児援護事業 (交通遺児援護基金)106 千円 [157 千円] 258 千円

小・中学校在学の交通遺児に対して入学祝い金や歳末慰問金を、担当民生委員・ 児童委員を通じて給付しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
入学祝い金	0 人	6 人	10 人
歳末慰問金	17 人	19 人	26 人

## (3) 心身障害児福祉の推進【社会福祉課】

① 心身障害児福祉事業

(共募) **1,983 千円** [2,122 千円] 2,296 千円

小学1年生から中学3年生までの特別児童扶養手当を受給している心身障害児の 養育者に対して、歳末慰問金を担当民生委員・児童委員を通じて給付しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
歳末慰問金	466 人	510 人	550 人

## (4) 保育士修学資金等貸付事業【社会福祉課】

(市補) **79,282 千円** [16,756 千円] [331,113 千円]

## ① 保育士修学資金貸付事業

質の高い保育士の養成確保に資することを目的として、指定保育士養成施設 に在学し保育士資格の取得を目指す学生に対し、修学に必要な資金の貸付を行 いました。

区分		H 29	H 28 ※平成 29 年 1 月事業開始		
区 刀	貸付件数	当期貸付金額	貸付件数	当期貸付金額	
保育士修学資金	59 件	29, 945, 808 円	8 件	2,641,840円	
入学準備金加算	43 件	8,600,000円	6 件	1, 200, 000 円	
入学準備金加算 (市単独加算)	40 件	4,000,000円	6 件	600,000円	
就職準備金加算	8 件	1,600,000円	1 件	200,000円	
生活扶助加算	5 件	1,872,960円	1 件	482, 280 円	
貸付金合計	_	46, 018, 768 円	_	5, 124, 120 円	

## ② 保育補助者雇上費貸付事業

保育所等における保育士の負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の貸付を行いました。

区分	H 29		H 28※平成 29 年 1 月事業開始		
区分	貸付件数 当期貸付金額		貸付件数 当期貸付金額		
保育補助者	1 件	1 476 000 III	1 件	1 491 000 []	
雇上費貸付	1 1 <del>11</del>	1,476,000円	1 1十	1,421,000円	

## ③ 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付事業

未就学児を持つ潜在保育士が、保育士として保育所等への勤務を希望する場合、当該保育士が支払うべき保育料の一部について貸付を行いました。

区分	J	H 29	H 28%平成 29 年 1 月事業開始		
区分	貸付件数	当期貸付金額	貸付件数	当期貸付金額	
保育料の	51 件	0 970 990 H	21 件	4 599 509 III	
一部貸付	51 1 <del>11</del>	9, 270, 820 円	21 1 <del>11</del>	4, 523, 593 円	

#### ④ 就職準備金貸付事業

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することが決定した場合、就職準備金の貸付を行いました。

□ /\	]	H 29	H 28※平成 29 年 1 月事業開始		
区分	貸付件数	当期貸付金額	貸付件数	当期貸付金額	
就職準備金 貸付	22 件	8, 204, 800 円	9 件	3,000,000円	

## (5) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【社会福祉課】

(市補) **5,463 千円** [1,921 千円] **26,297 千円** 

ひとり親の資格取得支援を目的として、高等職業訓練に係る費用(入学準備金・就職準備金)の貸付を行いました。

豆 八		H 29	H 28 ※平成 29 年 1 月事業開始		
区分	貸付件数	当期貸付金額	貸付件数	当期貸付金額	
入学準備金	10 件	4, 055, 937 円	3 件	1,500,000円	
就職準備金	1 件	200,000円	1 件	190,000円	
貸付金合計	-	4, 255, 937 円	-	1,690,000円	

## 9 生活安定のための支援

生活保護人員や世帯の増加傾向を踏まえ、包括的かつ継続的な相談支援や地域における 自立支援を行うことのできるサービス提供主体の発掘等による生活困窮者支援の仕組みづ くりを行いました。また、総合相談の推進と関係機関・組織の横断的な連携を図りました。

## (1) 経済的な自立更生の支援

① 生活福祉資金貸付事業【社会福祉課】

(受託金) **18,586 千円** [21,289 千円] **2**0,965 千円

事業の実施主体である千葉県社会福祉協議会との緊密な連携のもと、貸付金を必要とする市民へ速やかに融資しました。また、借受世帯に対し訪問や面接を行い、世帯の自立を支援しました。

## ア 貸付金の種別

¥	資金の名称	申請件数 (件)	貸付件数 (件)	貸付金額
総合支援資	金	7	7	2,002,164 円
福祉費		43	43	20,539,600円
福祉資金	緊急小口資金	100	97	8,585,100円
教育支援資	教育支援資金		221	120,721,100円
不動産担保	型生活資金	1	1	7, 280, 000 円
要保護世帯	向け不動産担保型生活資金	0	0	0 円
臨時特例つなぎ資金		0	0	0 円
合 計	H 29	376	369	159, 127, 964 円
合 計	H 28	319	297	128, 502, 889 円

(平成 29 年度目標値 210 件)

## イ 各区事務所貸付取扱状況

(件)

		総合	福祉資金		教育	不動産	要保護	臨時特例	
	区分	支援 資金	福祉費	緊急小口 資金	支援	担保型	世帯向け 不動産担保 型生活資金	つなぎ	合 計
F	中央 区	3	5	20	19	1	0	0	48
才	<b></b> 克川区	1	7	27	18	0	0	0	53
秆	音毛 区	0	0	13	36	0	0	0	49
才	葉 区	0	18	17	59	0	0	0	94
糸	录 区	0	5	3	28	0	0	0	36
身	美 浜 区	3	8	17	61	0	0	0	89
合	H29	7	43	97	221	1	0	0	369
計	H28	8	36	92	159	1	0	1	297

## ② 生活困窮者自立支援事業【重点事業】【生活自立・仕事相談センター中央】

(受託金) 23,394 千円 [26,352 千円] 23,394 千円

生活困窮者の様々な状況とその問題点を把握・評価・分析し、自立に向けた効果 的な支援が行われるように支援計画を策定し、支援を行いました。

区	分	H 29	H 28
	支援調整会議開催	12 回	12 回
自立相談支援事業	1立相談支援事業 新規相談受付数		417 件
	支援計画策定件数	258 件	225 件

## ③ 緊急一時的な食糧支援事業【地域福祉推進課】

フードバンクちばと連携し、生活困窮者へ緊急一時的な支援を行いました。

## <食品配送申請受付件数>

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H 29	122 件	34 件	25 件	30 件	12 件	38 件	261 件
H 28	142 件	41 件	27 件	46 件	18 件	32 件	306 件

## 10 福祉施設や団体との連携・支援

民間社会福祉施設や社会福祉団体に対し運営費等を助成し、社会福祉の増進を図りました。また、小地域福祉活動の活性化のため、施設や団体との連携の強化を図りました。

#### (1) 施設団体等助成【社会福祉課】

① 施設団体等助成事業

(共募) **2,521 千円** [2,550 千円] **2**,866 千円

民間社会福祉団体の適正な運営と民間社会福祉施設の事業が適切に実施されるよう、運営等に要する経費を助成しました。

豆八	H 29			H 28		H 29 目標値	
区分	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額	
民間保育園	30 施設	1, 189, 958 円	31 施設	1,223,878円	38 施設	1,520,000円	
社会福祉団体等	13 団体	1,290,000円	13 団体	1,290,000円	13 団体	1,290,000円	
合 計		2,479,958 円		2,513,878円		2,810,000円	

② 福祉施設・団体の歳末行事等への助成事業(共募)742 千円 [637 千円] 969 千円 福祉施設・団体の歳末行事等の開催に要する経費の一部を助成しました。

豆八		H 29		H 28		H29 目標値	
区分	配分件数	配分金額	配分件数	配分金額	配分件数	配分金額	
福祉施設	4 施設	66,500円	4 施設	62,500円	5 施設	113,000円	
福祉団体	6 団体	286,000円	6 団体	280,000 円	7 団体	295,000 円	
小規模作業所等	42 か所	377,000円	36 か所	283,000円	58 か所	548,000円	
合 計		729,500円		625, 500 円	_	956,000 円	

## (2) 社会福祉事業振興資金貸付【社会福祉課】

① 社会福祉事業振興資金貸付事業

(社会福祉事業振興資金) **0 千円** [19 千円] | 16,364 千円

社会福祉法人等が設置運営する社会福祉施設の整備等に必要な資金の貸付実績はありませんでした。制度の利用促進を図るため、引き続き事業の啓発を行います。

ア 貸付限度額 800万円イ 貸付利率 年利3%

ウ 償 還 期 間 200万円までが5年以内、40万円増す毎に1年を加えた期間

区分	H 29	H28	H29 目標値
融資件数	- 施設	- 施設	2 施設
融資金額	- 円	- 円	1,600,000円

## 11 人材育成のための研修の充実

千葉市より平成 29 年度まで 2 年間の指定管理を受け、千葉市社会福祉研修センターの管理運営を行い、福祉を担う人材の育成と資質の向上を図るため、平成 28 年度からは研修体系を変更するとともに新しい研修も加え、社会福祉事業に従事する社会福祉施設職員、行政職員等を対象に幅広い研修を、計画的・体系的に実施するとともに、市民を対象とした社会福祉セミナーを実施し、その他、受託事業による研修を含め、延べ 3,942 人の方が研修を受講しました。

## (1) 指定管理の研修・指定管理以外の研修【社会福祉研修センター】

(受託金) **67,887 千円** [55,430 千円] 72,521 千円

(×0)		<u> </u>			, +00   1	3 3 1 - 7		
	研修区分	研修名	]	H 29	H	[28	H29 目標値	
	班修 区 分	柳修石	課程数	受講者数	課程数	受講者数	課程数	受講者数
		トップセミナー	1	28 人	1	194 人	1	30 人
	管理運営部門	施設長・事務所長研修	1	13 人	1	15 人	1	30 人
	研修	財務担当者研修	2	33 人	2	19 人	2	60 人
		人事・労務担当者研修	1	5 人	1	12 人	1	30 人
		看護職員研修	1	7 人	1	11 人	1	30 人
		栄養士等給食担当職員研修	1	13 人	1	14 人	1	30 人
		ケアマネジャー現任研修 I	1	73 人	1	30 人	1	40 人
		ケアマネジャー現任研修Ⅱ	1	79 人	1	75 人	1	40 人
	専門職研修	施設ケアマネジャー現任研修	1	18 人	1	21 人	1	40 人
		サービス提供責任者現任研修	1	18 人	1	12 人	1	30 人
		訪問介護員現任研修 I	1	17 人	1	20 人	1	30 人
		訪問介護員現任研修Ⅱ	1	9 人	1	16 人	1	30 人
		訪問介護員フォローアップ研修	7	156 人	8	181 人	7	210 人
		福祉担当新任職員研修	1	46 人	1	50 人	1	30 人
		生活保護関係職員新任地区担当員研修	1	58 人	1	54 人	1	40 人
		福祉担当職員研修	1	43 人	1	24 人	1	30 人
	行政職員研修	生活保護関係職員地区担当員研修I	1	41 人	1	29 人	1	35 人
		生活保護関係職員地区担当員研修Ⅱ	1	26 人	1	32 人	1	12 人
指		生活保護関係職員生活保護査察指導員 等研修	1	15 人	1	17 人	1	30 人
定管	地域福祉従事者 研修	主任児童委員研修	1	129 人	1	116 人	1	150 人
理		認知症対応スキル向上研修	2	29 人	2	62 人	2	60 人
		介護技術向上研修I	3	52 人	3	78 人	3	90 人
		介護技術向上研修Ⅱ	3	66 人	3	90 人	3	90 人
		介護技術向上研修Ⅲ	2	58 人	2	24 人	2	60 人
		接遇マナー・インストラクション研修	3	58 人	3	54 人	3	90 人
		医学知識研修	2	63 人	2	53 人	2	60 人
	専門課題研修	薬学知識研修	1	11 人	1	44 人	1	30 人
		障害知識研修	1	7人	1	9人	1	30 人
		介護過程・介護記録研修	2	87 人	2	62 人	2	60 人
		リスクマネジメント研修	1	34 人	1	37 人	1	30 人
		救急法研修I	2	20 人	2	41 人	2	40 人
		救急法研修Ⅱ	1	12 人	1	5 人	1	24 人
		相談援助技術研修	1	17 人	1	29 人	1	30 人
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修 新任職員研修	1	34 人	1	22 人	1	30 人
	キャリア創生	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員研修	1	38 人	1	36 人	1	30 人
	研修	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 チームリーダー研修	1	46 人	1	34 人	1	30 人
		人材育成·OJT実践研修	4	30 人	4	51 人	4	120 人

		介護指導者養成研修	1	133 人	1	12 人	1	20 人
	介護研究	介護指導者養成研修 (研究編)	_	一人	1	1人	1	5 人
	市民向け研修	社会福祉セミナー	36	1,539 人	36	1,849 人	36	1,915 人
		小 計	95	3,161 人	97	3,535 人	96	3, 801 人
		認知症介護実践者研修I	1	46 人	1	51 人	1	50 人
		認知症介護実践者研修Ⅱ	1	35 人	1	54 人	1	50 人
	認知症介護	認知症介護実践者研修Ⅲ	1	35 人	1	44 人	1	50 人
指	実践者研修	認知症介護実践者研修Ⅳ	1	43 人	1	51 人	1	50 人
定		認知症介護実践リーダー研修	1	17 人	1	14 人	1	20 人
指定管理		認知症介護基礎研修	4	143 人	4	179 人	4	200 人
理以外	地域福祉従事者 研修	民生委員・児童委員新任研修	_	一人	1	409 人	_	一人
25	生活援助型訪問サ ービス従事者研修	生活援助型訪問サービス従事者研修	1	83 人	_	一人	_	一人
	その他関係機関連携は	研修会等	10	379 人	8	234 人		一人
		小 計	20	781 人	18	1,036 人	9	420 人
		合 計	115	3,942 人	115	4,571 人	105	4, 221 人

## (2) 社会福祉士養成課程相談援助実習の実習生の受入れ

社会福祉士養成課程における相談援助実習プログラムの充実を図り実習生を受入れ、各部署において社会福祉士として必要な知識及び援助技術を取得するための実習指導を行いました。また、社会福祉主事任用資格取得に係る社会福祉現場実習生の受け入れ、実習指導も行いました。

×	分	H 29	H 28	H29 目標値
実習生受入	社会福祉士	11 人	9 人	9 人
人数	社会福祉主事	1 人	2 人	0 人

## 12 広報活動の充実

市民の視点、ニーズに応じた広報内容を充実させるとともに、情報を速やかに発信しました。

様々な年齢層の市民に対して、本会とその活動についての理解を図っていくために、マスコットキャラクター等を用いて、市内で開催されるイベントに参加するなど、PR活動を積極的に行いました。

## (1) 社協のPR活動

## ① 社協だよりの発行 〈再掲〉

社協活動の広報紙として、社協だよりを年4回、各3万2千部発行し、各町内自 治会での回覧や公共施設などに配架し、多くの市民へ情報を提供しました。

	H 29		H 28	H29目標値
巻数	発行日	発行部数	発行回・部数	発行回・部数
第98号	平成29年 6月15日			
第99号	平成29年 9月21日	Ø 20 000±7	年4回	年4回
第100号	平成29年12月7日	各32,000部	各32,000部	各32,000部
第101号	平成30年 3月15日			

#### ② ホームページの充実 <再掲>

ホームページで、本会や地区部会、各種ボランティア団体等の活動状況を掲載するとともに、地域で必要とする福祉情報を発信しました。

#### <アクセス数>

区分	H 29	H 28
本会トップページ	65,290件	48,585件
ボランティアセンター	18,437 件	20,295 件
成年後見支援センター	14,600 件	10,112 件
社会福祉研修センター	8,809件	8,043 件
生活自立・仕事相談センター	4,891件	2,819 件

## ③ 各種イベントでのPR活動【地域福祉推進課】

(共募) **184 千円** [187 千円] **284** 千円

区民まつりや、地区部会が主催するイベント等に積極的に参加し、市民に対し本 会や地区部会活動への理解促進に努めました。

#### ④ 出前講座の実施【総務課】

(共募) **0 千円** [126 千円] | 167 千円

市民や団体等からの依頼により、本会の職員が地域に出向き、本会の活動内容などを説明し、理解促進に努めました。

## 13 体制の充実・強化

地域福祉活動を継続的に推進するため、市民及び施設・企業などに本会の活動や会員制度への理解を求め、会員の拡大に向けて積極的に働きかけるとともに、会員制度のあり方について検討し、必要に応じて見直しを行い、より一層の理解と協力を得られるよう努めました。

また、本会独自の事業展開のために、自主財源確保のための取組みを積極的に行い、財政基盤の強化を図るほか、「企画提案・調整型社協」として、地域特性に応じた適切なサービスが提供できるよう、本会の組織体制の充実と職員の資質向上のための取組みの推進に努めました。

#### (1)会員の拡大【地域福祉推進課】

(会費) **694 千円** [833 千円] 985 千円

① 住民会員の拡大

市民に本会の活動を理解してもらい、本会の会員として継続的に地域福祉に参加してもらえるよう、地区部会を通して会員の拡大に努めました。

## ② 特別会員・賛助会員の拡大

千葉市老人福祉施設協議会、千葉市民間保育園協議会等関係機関への訪問による 依頼や社会福祉施設・企業等への入会案内により、継続的に地域福祉に参加しても らえるよう、特別会員・賛助会員の拡大に努めました。

#### ③ 会員制度の見直し

会員制度について本会の会員制度の仕組みや意義を理解してもらえるよう、本会の会員制度のあり方について検討を行いました。また、地域住民や町内自治会に対し会員募集のチラシの配布や会員制度の仕組みや意義の理解促進に努めました。

#### <会員の状況>

区分		住民会員 (1口200円)	特別会員 (1日3,000円)	賛助会員 (1 □ 10,000円)	会費収納額	
		中 央 区	44,053 □	406 □	72 □	10,748,700円
		花見川区	35, 551 □	106 口	94 □	8,368,200円
The Ext All	^	稲 毛 区	31,989 □	101 □	40 □	7, 100, 880 円
地区部	会	若 葉 区	25,126 口	23 □	12 □	5,214,240円
		緑区	23,016 口	13 □	7 □	4,712,300円
		美 浜 区	27, 222 □	56 □	33 □	5,942,586円
바다답대설	<del>b</del>	花見川区	234 □	5 П	1 口	71,800円
地区民児協	'n	若葉区	50 □	0 П	0 П	10,000円
本会取扱分		0 П	49 □	39 □	537,000 □	
合 計		H 29	187, 241 口	759 □	298 口	42,705,706円
		H 28	185, 345 口	847 □	284 □	42, 452, 765 円

## (2) 自主財源の確保

① 収益事業の検討・実施【総務課】(物販収入等) 284 千円 [293 千円] 312 千円 マスコットキャラクターを使用した3種類の商品を販売するなど自主財源の確保に努めました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
資料·図書等頒布	6 千円	8 千円	12 千円
手数料	207 千円	203 千円	190 千円
物品販売	71 千円	82 千円	110 千円

#### ② 赤い羽根共同募金の増額【社会福祉課】

新たな寄付者の拡大を図るため、法人への訪問を強化するとともに、オリジナルクオカードの作成、寄付つきファイル募金等、新規の募金活動に取組みました。

## <募金の状況>

区分	H 29	H 28	H 29 目標値
赤い羽根共同募金(10月~3月)	25, 329, 155 円	25, 887, 459 円	30,000,000円
歳末たすけあい募金(12月)	10,573,314円	10,556,095 円	_

③ 有料広告の利用促進【総務課】 (広告料収入) 414 千円 [462 千円] 449 千円 社協だよりやホームページに、広告掲載を希望する企業等を募集し、4 件の広告 掲載を獲得しました。

## (3)組織体制の充実・強化

① 区事務所の機能充実【地域福祉推進課】

地域の特性やニーズ等を踏まえ、各区事務所にCSWを配置し、地域福祉活動のコーディネートをよりきめ細かく活発に行いました。

また、成年後見支援センター、千葉市生活自立・仕事相談センター中央等との更なる連携を図り、課題解決を総合的に支援する体制の強化に努めました。

<サロン・見守り・支え合い活動立上げ実績>

区分	H 29	H 28
サロン活動立上げ実績	13 団体	18 団体
見守り活動立上げ実績	5 団体	1 団体
支え合い活動立上げ実績	1 団体	0 団体

区分	H 29	H 28	H 29 目標値
CSW会議 (個別支援ケース検討)	年 12 回	年 12 回	年 12 回

② 職員の資質向上【総務課】 (市補等)893 千円 [844 千円] 900 千円

職場内研修の実施や職場外研修への派遣とともに、資格取得を促進しました。

区分	H 29	H 28	H29 目標値
法令に基づく管理者等向け研修派遣	8 人	9 人	13 人
管理監督者向け研修派遣	4 人	1 人	6 人
係長向け研修派遣	5 人	0 人	4 人
社会福祉士資格取得	0 人	0 人	1 人
千葉県コミュニティソーシャルワーカー	G I	2 1	G. I
育成研修	6人	3 人	6 人
千葉市派遣研修	2 人	2 人	2 人

③ 各種団体・関係機関との小地域福祉活動の推進《新規》《再掲》【地域福祉推進課】 ア 地域ふくしカアップ助成金による支援(その他) **205 千円** [-千円] 1,800 千円 地域の特性や市民の意向等を踏まえ、CSWを中心に地域福祉の活性化及び地域 における福祉課題の解決を図るため、市民が自主的に行う事業に要する経費につい て、予算の範囲内において、当該事業を実施するものに対し助成金を交付しました。 今年度は、若葉区の1団体へ助成しました。

#### <助成実績>

区分	H 29	H29 目標値
助成団体数	1団体(若葉区)	6 団体

※(団体名)キャラバン隊「ららら」・(事業内容)知的障害疑似体験等事業

## 14 災害への対応

## (1) 義援金、寄附金の受付等【社会福祉課】

平成28年4月の熊本地震災害及び平成29年7月5日からの大雨災害(九州北部 大雨災害)義援金の受付を行い、日本赤十字社へ送金しました。

(2)「関東甲信越静ブロック都県指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する 協定」に基づく支援【総務課】≪平成29年度幹事≫

被災地の都県指定都市社会福祉協議会や全国社会福祉協議会等と連携して、災害 発生直後の被災状況を把握し、速やかなボランティア派遣や災害ボランティアセン ターの立上げ等の相互支援が行えるよう情報共有を図りました。

## 関連資料

## 【組織図】

平成 30 年 3 月 31 日現在



